

自民・共産が一緒に批判

「大阪都」構想問う番組で

民放TV

橋下徹大阪市長が

「大阪都」構想と称す

る大阪市の廃止と五つ

の特別区への分割を市

民に問う5月17日の住

民投票に向けて、読売

テレビで29日、橋下氏

と「都」構想に反対す

る党の議員との討論番

組が放映(写真)され

ました。日本共産党か

ら山中智子市議団幹事

長、自民党から柳本顕

市議団幹事長、竹本直

一府連会長が出演しま



した。

橋下氏が、ばく大な財源を生み出すとしていた「三重行政の無駄」について、山中氏は「虚構だ」と指摘。竹本氏は「市大・府大にしても、それぞれ特徴のある大学があって大阪の魅力が増す」、

逆に「市を分割すれば必ずコストはかかる」と柳本氏が主張したのに対して、橋下氏は「お金の話じゃない」などと発言しました。

柳本氏は「府市の体育館も稼働率が高く機能も違うので二つあるから無駄というわけではない」と主張しました。橋下氏が過去の大阪市の開発の失敗例を挙げ、「今の仕組みである以上また税金の無駄遣いが出てくる可能性がある」と市解体を主張したのに対して、竹本氏は、失敗の原因は「政策の間違いだ」と指摘。山中氏は「仕組みの問題にすり替えているから、大阪市をつぶして府に取り上げる財源で結局、カジノ誘致だとか、関空から梅田まで5分早くなるだけの『なにわ筋線』づくりだとか同じことを繰り返そうとしている」と批判しました。